

# ルーマニア月報

2024年7・8月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、  
日本大使館がとりまとめたものです。

令和6年9月13日  
在ルーマニア日本国大使館作成

## 主要ニュース

### 【内政】

- 議会選挙が12月1日（在外投票日は11月30日-12月1日）、大統領選挙は11月24日（第1回投票）および12月8日（決選投票）（在外投票日は11月22日-24日（第1回投票）、12月6日-8日（決選投票））。
- 大統領選挙への立候補者・予定者は、チョラク首相（社会民主党：PSD）、チウカ上院議長（国民自由党：PNL）、ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）、ラスコーニ USR（ルーマニア救国連盟）党首、シミオン AUR（ルーマニア人統一同盟）党首、ケレメン UDMR（ハンガリー人民主同盟）党首、ショショアカ SOS 党首等。
- 8月20日、ブカレスト経済大学倫理委員会は、ジョアナ前 NATO 事務次長が提出した博士論文の盗作率は0.36%と低く、独創性の欠如とは考えられないことから、法的措置は不要と判断。

### 【経済】

- 7月5日の金融政策委員会で、ルーマニア中央銀行は政策金利をこれまでの7.00%から6.75%に引き下げることを決定。また、8月7日、ルーマニア中央銀行は8月8日からの政策金利の6.50%への引き下げを発表。
- 7月22日、ジェニファー・グランホルム米エネルギー省長官は、ドイチェシュティの小型モジュール炉（SMR）プロジェクトの基本設計（FEED）第2フェーズ契約を7月24日に締結予定である旨発表。
- 8月23日、エネルギー省は「2050年を見据えたエネルギー戦略2025-2035年」を発表。
- 8月29日、チョラク首相及びグリーンデアヌ運輸・インフラ相は「ブカレスト国際空港アクセス鉄道建設（通称：M6プロジェクト）」の現場視察を実施。
- 8月31日、フィッチ・レーティングスはルーマニア信用格付けをBBB-に据え置き。

### 【外政】

- 7月9-11日、米国ワシントンDCにおいて、第33回NATO首脳会合が開催され、ルーマニアからヨハニス大統領が出席。
- 7月11日、ヨハニス大統領は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と「ルーマニア・ウクライナ安全保障に関する二国間合意」に署名。

### 【防衛・安全保障】

- 7月1日、トルコ、ブルガリア、ルーマニアの3か国による黒海機雷対処タスクフォース（MCM BLACK SEA）の運用開始。

### 【我が国との関係】

- 7月13日、ブカレスト国際ジャズコンペティションのガラ及び授賞式が開催され、日本人ジャズバンド「平光広太郎トリオ」が準優勝に当たる「ベスト・バンド」特別賞を受賞。
- 7月16日、片江大使は、ヴェシユテア開発・公共事業・行政相を表敬訪問。
- 7月16日、写真家であり、エッセイスト、翻訳家など多彩な活動をされている、みやこうせい氏、在外公館長表彰を受賞。
- 7月31日、片江大使は、オブレスク労働・社会連帯相へ表敬訪問。
- 8月1日、片江大使は、ラフィラ保健相を公邸に招いて懇談。
- 8月23日、日本の琴奏者榎戸二幸氏による演奏会がブカレストで開催。

## 内政

### ● 議会選挙日程の決定

- 8月21日、ルーマニア政府は以下の政府決定3本により、2024年12月1日に実施される議会選挙の日程を定め、承認した。政府は選挙関連予算として8億7810万レイを超える概算額を承認。
- ◇ 9月10日：中央選挙管理局への選挙同盟結成議定書の提出期限
- ◇ 10月2日：在外有権者の登録期限、少数民族グループ立候補者リスト登録期限
- ◇ 10月17日：上下院候補者リストの提出期限
- ◇ 11月1日～30日：選挙活動期間
- ◇ 11月30日 7:00～21:00：在外投票日初日
- ◇ 12月1日 7:00～21:00：国内投票日・在外投票2日目

### ● 大統領選挙の日程の決定

- 8月28日、ルーマニア政府は3つの政府決定を採択し、2024年11月24日（第1回投票）および12月8日（決選投票）に行われるルーマニア大統領選挙関連の日程の詳細が決まった。政府は大統領選挙実施に必要な総額は13億9000万レイと政府は見積もっている。
- ◇ 9月24日：在外投票を希望する有権者の在外投票登録期限
- ◇ 10月5日：中央選挙管理局への立候補者の届け出期限
- ◇ 10月25日～11月23日：選挙活動期間
- ◇ 11月22日 12:00～21:00：在外投票初日
- ◇ 11月23日 7:00～21:00：在外投票2日目
- ◇ 11月24日 7:00～21:00：国内投票日・在外投票3日目
- ◇ 11月29日～12月7日：決選投票・選挙活動期間
- ◇ 12月6日 12:00～21:00：決選投票・在外投票日初日
- ◇ 12月7日 7:00～21:00：決選投票・在外投票2日目
- ◇ 12月8日 7:00～21:00：決選投票・国内投票日、在外投票3日目

### ● 大統領選挙の立候補者・予定者

- ◇ チョラク首相（社会民主党：PSD）：8月24日、党大会により承認。
- ◇ チウカ上院議長（国民自由党：PNL）：9月15日、党全国評議会で承認の見込み（8月29日、党政治局で承認。）。
- ◇ ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）：9月10日、NATO 次長職を辞任。9月11日自身の Facebook で出馬宣言。
- ◇ ラスコーニ USR（ルーマニア救国連盟）党首：6月29日、党大会で承認。
- ◇ シミオン AUR（ルーマニア人統一同盟）党首：6月15日、党大会で承認。
- ◇ ケレメン UDMR（ハンガリー人民主同盟）党首：9月6日、党幹部会議で承認。
- ◇ ショシオアカ SOS 党首：6月24日、党全国委員会による承認。

### ● ジョアナ前 NATO 事務次長の博士論文の盗作疑惑問題：法的措置は不要との判断

- 8月20日、ブカレスト経済大学倫理委員会は、19年前にジョアナ前 NATO 事務次長が提出した博士論文を分析。博士論文の盗作率は0.36%と低く、独創性の欠如とは考えられないことから、同委員会は法的措置は不要と判断。

## ● 世論調査の結果

- Sociopol による世論調査（調査実施期間 8 月 15 日-23 日、対象者：1,003 名、統計上の誤差は±3.2%）
  - 大統領選挙：チャク首相（PSD）25%、シミオン AUR 党首（AUR）19%、ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）15%、チウカ上院議長（PNL）13%、ラスコーニ・クンプルング市長・USR 党首（USR）12%、ショシヨカ欧州議員・SOS 党首(SOS) 8%
- CURS による世論調査（調査実施期間 8 月 6 日-22 日、対象者：1,067 名、統計上の誤差は±3%）
  - ◇ 大統領選挙：チャク首相（PSD）32%、チウカ上院議長（PNL）19%、ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）15%、シミオン AUR 党首（AUR）14%、ラスコーニ・クンプルング市長・USR 党首（USR）11%、ショシヨカ欧州議員・SOS 党首（SOS）5%
  - ◇ 議会選挙：PSD 34%、PNL 24%、AUR 14%、統一右派同盟 12%、SOS 5%、UDMR 5%

【政党略称】PSD：社会民主党、PNL：国民自由党、AUR：ルーマニア人統一同盟、UDMR：ハンガリー人民主同盟、USR：ルーマニア救国同盟、PUSL：社会自由ヒューマニスト党

## 経済

### (1) 主要経済統計とりまとめ（国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行 発表とりまとめ）

#### 国家統計局（INS）

	2024/1	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7
貿易収支（億€）	-19.584	-41.420	-66.990	-93.209	-122.883	-150.901	-180.394
前年同期比（%）	-15.5	-5.2	-1.5	+5.0	+11.1	+13.2	+15.6
消費者物価指数（%）	7.41	7.23	6.61	5.90	5.12	4.94	5.42
失業率（%）	5.4	5.2	5.2	5.3	5.4	5.5	5.4
平均グロス給与（€）	1,604	1,607	1,710	1,717	1,681	1,706	N.A.
平均ネット給与（€）	977	981	1,043	1,050	1,030	1,041	N.A.

## ● 財務省（MF）

	2024/1	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7
財政収支（億 lei）	78.918	289.873	358.790	572.906	601.042	636.656	710.418
GDP 比（%）	-0.45	-1.67	-2.06	-3.24	-3.40	-3.60	-4.02

## ● ルーマニア中央銀行（BNR）

	2024/1	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7
政策金利（%）	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	6.75
外貨準備高（億€）	614.16	631.28	642.79	625.11	650.72	643.92	635.79
経常収支（億€）	-13.58	-27.07	-39.45	-65.76	-91.75	-121.76	N.A.
前年同期（億€）	-7.60	-21.71	-39.64	-51.91	-68.79	-90.87	N.A.
FDI（億€）	5.83	12.29	20.95	32.30	33.42	32.19	N.A.
前年同期（億€）	5.96	13.45	22.16	24.08	24.65	28.01	N.A.
前年同期比（%）	-2.18	-8.62	-5.46	+34.13	+35.57	+14.92	N.A.
中長期対外債務（億€）	1252.44	1284.39	1290.63	1267.98	1309.97	1306.62	N.A.
前年末比（%）	+3.4	+5.5	+6.0	+4.1	+7.6	+7.3	N.A.
短期対外債務（億€）	478.82	484.10	486.63	450.89	447.56	461.95	N.A.
前年末比（%）	+0.5	+0.2	+0.7	-6.7	-7.4	-4.4	N.A.

● **消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）**

	2024/1	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7
消費者物価指数(%)	7.41	7.23	6.61	5.90	5.12	4.94	5.42
食料品価格(%)	5.64	4.48	2.81	2.07	1.24	1.10	1.71
非食量品価格(%)	7.36	7.82	8.06	7.17	6.38	6.28	6.92
サービス価格(%)	10.91	11.00	10.20	10.05	9.29	8.81	8.52
ユーロ圏平均	2.8	2.6	2.4	2.4	2.6	2.5	2.6
EU27 カ国平均	3.1	2.8	2.6	2.6	2.7	2.6	2.8

● **業種別（前年同期比）（国家統計局（INS）・ユーロスタット）**

	2024/1	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7
<b>鉱工業</b>							
工業生産高(%)	-3.9	-2.2	2.8	3.6	6.5	0.5	N.A.
工業売上高(名目)(%)	1.9	8.2	-0.5	18.8	-7.1	2.8	N.A.
工業製品物価指数(%)	-6.0	-6.3	-7.9	-4.0	-1.0	1.1	2.6
新規工業受注高(名目)(%)	3.5	6.4	-5.2	8.5	-7.2	-3.4	N.A.
<b>小売業</b>							
小売業売上高(除:自動車・バイク)(%)	5.1	7.1	4.3	9.5	6.1	10.0	7.4
自動車・バイク売上高(%)	0.5	2.7	0.9	11.4	-3.3	-0.4	N.A.
小売業売上高 ユーロ圏平均(%)	-1.0	-0.7	0.7	0.0	0.3	-0.3	-0.1
小売業売上高 EU 平均(%)	-0.6	-0.2	2.0	-0.1	0.6	0.1	0.4
<b>建設業</b>							
工事(%)	-15.0	-5.9	-1.2	13.1	-1.7	-0.4	N.A.

(2) **主要経済関連**

● **2024年インフレ率 6月は4.94%に下降**

- 7月11日、ルーマニア中央銀行（BNR）は、2024年6月の年間インフレ率は、5月の5.12%から4.94%に低下した旨を発表した。これは、食料品が1.10%、非食品が6.28%、サービスが8.81%に下降したためである。BNRはまた、2024年末のインフレ予測を前回の5.1%から4.9%に修正し、2025年末には3.5%に達すると予測。

● **政策金利は7.00%→6.75%→6.5%に引き下げ**

- 7月5日、ルーマニア中央銀行（BNR）は金融政策委員会で政策金利をこれまでの7.00%から6.75%に引き下げることを決定。また、8月7日、BNRは、8月8日からの政策金利を6.50%に引き下げることを発表。

● **ルーマニア 2024年7月のインフレ率はEU最高**

- 8月21日、当地報道機関「Ziarul Financiar」は、Eurostatのデータを取りまとめ、ルーマニアの7月のインフレ率5.42%はEU最高だった旨を発表した。なお、2024年7月のEU内のインフレ率最低はフィンランド（0.5%）、ラトビア（0.8%）、デンマーク（1.0%）だった。

● **フィッチ・レーティングス ルーマニア信用格付け「BBB-」に据え置き**

- 8月31日、フィッチ・レーティングスはルーマニア信用格付けをBBB-に据え置いた。ポロシュ財務相は、本格付けにより、ルーマニア政府による財政の持続可能性を確保するための措置に対する信頼が再確認され、資金調達条件や資本市場における投資家の投資意欲にポジティブな影響を与える旨を発表した。

### (3) エネルギー関連

- **米エネルギー省長官 SMR プロジェクトの基本設計 (FEED) 第 2 フェーズ契約の締結を発表**
  - 7月22日、ジェニファー・グランホルム米エネルギー省長官は、大西洋横断エネルギー・気候協力パートナーシップ (P-TECC) ビジネス・フォーラムで、ドイツエシュティの小型モジュール炉 (SMR) プロジェクトの基本設計 (FEED) 第 2 フェーズ契約を 7月24日に締結予定である旨を発表。同プロジェクトは老朽化した石炭火力発電所の跡地を活用した代替エネルギー化や、ロシア産石油や天然ガスの依存の縮小、気候・健康の保護、地域での雇用創出に資する旨述べた。
- **「2050 年を見据えたエネルギー戦略 2025-2035 年」の発表**
  - 8月23日、エネルギー省は、市民社会、学界、産業界から寄せられたパブリック・コメントを統合し、「2050 年を見据えたルーマニアのエネルギー戦略 2025-2035 年」を発表。グリーントランスフォーメーションの加速や、エネルギー安全保障の必要性が高まる中、手頃な価格や経済競争力の維持、化石燃料から再生可能エネルギーおよび／または低炭素エネルギー源への段階的移行、貯蔵能力の開発、エネルギー効率の改善、国内エネルギー源の多様化、送配電網の強化、効率的な条件下での国内消費の拡大促進、ネットワークの柔軟化、消費者が中心的な役割を果たす競争的でパフォーマンスの高い市場の創出などが強調されている。

### (4) その他トピックス

- **気候変動への適応に関する国家戦略の採択**
  - 8月14日、環境・水利・森林省は、ルーマニア政府が、水資源、森林、公衆衛生、教育、エネルギー、運輸など複数の主要分野をカバーし、各分野における行動の明確な方向性と具体的な対策を示す「気候変動への適応に関する国家戦略」を採択した旨を発表。同戦略では 2050 年を念頭に、2024 年～2030 年の期間の戦略を示している。
- **チョラク首相及びグリーンデアヌ運輸・インフラ相、M6 建設現場を視察**
  - 8月29日、チョラク首相及びグリーンデアヌ運輸・インフラ相は、「ブカレスト国際空港アクセス鉄道建設計画 (通称：M6 プロジェクト)」の経済現場視察を実施。チョラク首相は、経済発展及びブカレスト市の交通問題を解決する唯一の持続可能な解決策はインフラへの投資、とりわけ地下鉄ネットワークの拡大である旨発言。

## 外政

### (1) ウクライナ関連

- **UNHCR 発表避難民動向データ**
  - 一時的保護の登録延べ人数：177,220 人 (7月31日時点、6月10日時点から 7,576 人増)
  - 一時的保護の登録人数：162,180 人 (7月31日時点)
- **オドベスク外相、ルーマニア・ウクライナ・モルドバの三カ国外相会談に出席**
  - 7月5日、オドベスク外相は、キシナウで開催されたルーマニア・ウクライナ・モルドバ外相会談において、偽情報対策に関する覚書に署名し、より構造化された協力を通じて、この問題に対抗するための共同コミットメントの証に署名した旨述べた。また、オドベスク外相は、ルーマニアがウクライナの穀物・農産物輸出の 68%がルーマニアを経由している旨および、ルーマニアがウクライナの代替エネルギーの解決策の模索を継続する旨述べた。
- **ヨハニス大統領、ゼレンスキー大統領とルーマニア・ウクライナ安全保障協定を調印**
  - 7月11日、ヨハニス大統領は、NATO 首脳会合期間中に、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と両国間の「安全保障に関する二国間合意」に署名した。本合意は、ルーマニアからウクライナへのパトリオットシステムの提供、防衛産業への支援、ウクライナ人操縦士のための F-16 訓練センターでの訓練など、黒海地域の安全保障を強化するための具体的な協力事項を定めている。

- **ショシオカ欧州議会議員 ウクライナ入国を3年間禁止**

- 7月18日、ウクライナ治安局は、ショシオカ欧州議会議員・SOS ルーマニア党首のウクライナ入国を3年間禁止すると発表した。

## (2) 要人往来

- **ヨハニス大統領、ワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会議に出席**

- 7月9-11日、ヨハニス大統領は、ワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会合に出席した。同会合では、黒海は、ルーマニアが一貫して主張してきた戦略的に重要な地域であることが首脳宣言で再確認され、首脳宣言では NATO が黒海地域の安定と安全保障に固くコミットしていることが明示された。また、ウクライナに対する NATO の財政支援の誓約や、モルドバに対する NATO の支援が首脳会議の文書で明確に強調されたことなどから、会議後、大統領府は NATO 首脳会合においてルーマニアが設定した目標をすべて達成した旨を発表した。

- **チョラク首相、ルーマニアのシェンゲン協定への完全適用についてフォン・デア・ライエン欧州委員長と協議**

- 8月22日、チョラク首相はルーマニアのシェンゲン協定への完全適用についてフォン・デア・ライエン欧州委員長と協議し、9月のオーストリア選挙の結果、PSD が属する欧州 S&D 会派に属する政党がオーストリア政権に参加することになれば事態が好転する旨伝えた。

## (3) ルーマニア・ロシア関係

- **ロシアはルーマニアの外交官をペルソナ・ノン・グラータに指定**

- 7月3日、ロシア外務省は、駐ロシア・ルーマニア大使館の職員をペルソナ・ノン・グラータに指定した旨イストラテ駐ロシア・ルーマニア大使を外務省に呼び出し文書を手渡した。ルーマニア外務省はこの情報を確認し、この決定は根拠がないと判断した。ロシア外務省は、この措置は、ルーマニアが以前、在ルーマニア・ロシア大使館の外交官をペルソナ・ノン・グラータとする根拠のない決定を下したことに対するものだとしている。

- **ルーマニアでロシアのドローン破片が発見された件に関し、外務省がロシア大使館の責任者を召喚**

- 7月25日、外務省はルーマニアでロシアのドローン破片が発見された件に関し、当地ロシア大使館の責任者を召喚し、ルーマニア当局の強い抗議を伝え、ロシア軍によるウクライナの民間インフラへの度重なる攻撃を非難し、その即時停止を求めた。

## (4) ルーマニア・中国／台湾関係

- **PNL ムラル議員による台北で開催の第4回議会間同盟会議への出席**

- 7月29-8月1日、ムラル議員(PNL) 及びテニツァ議員 (REPER)は、台北で開催された第4回「対中政策に関する列国議会連盟 (IPAC) 」国際会議に出席、台湾副総統と面会し、ルーマニアでの台北経済文化事務所開設の受け入れを主張した。
- 7月31日、駐ルーマニア中国大使館は、ルーマニア議員が台湾での上記会議に出席したことを受け、REPER に対し特定議員の行動を規制する具体的な措置を講じるよう求める旨の書簡を送った。
- 8月6日、テニツァ議員 (REPER) の訪台について駐ルーマニア中国大使館から行動を規制する具体的な措置を講じる要求が届いたことに対し、REPER は党員が法律、倫理、組織の規則の厳格さを遵守している限り、党員の行動を統制し、是正する習慣がないことを指摘した。

# 防衛・安全保障

## (1) イベント等

- **黒海機雷対処タスクフォース（MCM BLACK SEA）が運用開始**
  - 7月1日、トルコ、ブルガリア、ルーマニアの3か国による黒海機雷対処タスクフォース（MCM BLACK SEA）の運用が開始された。指揮権は6か月ごとに3か国で持ち回り、年末まではトルコが、年明けからはブルガリアが、来年7月からはルーマニアが指揮を執る予定。
- **トゥルチャ県で RO アラート、ロシアによるウクライナへの無人機攻撃**
  - 7月6日、国防省は、ロシア軍がルーマニアのトゥルチャ県との国境付近のウクライナ領内を無人機で攻撃した旨を発表。RO アラートが発出されると共に、ルーマニアの F-16 戦闘機 2 機が第 86 空軍基地から離陸し状況を監視した。
- **大統領、ワシントン DC における NATO 首脳会合に出席**
  - 7月9日から11日にかけて、米国ワシントン D.C.において、第33回 NATO 首脳会合が開催され、ルーマニアからヨハニス大統領が出席した。
- **ルーマニア空軍機、森林火災の消火活動に従事**
  - 7月9日、ルーマニア空軍の2機の C-27J スパルタン機がメヘディンツィ県で発生した森林火災を消火するために従事した。
- **ルーマニア空軍機、北マケドニアの森林火災の消火活動などに従事**
  - 7月17日から20日にかけて、ルーマニア空軍の C-27J 輸送機と後方支援用の C-130 輸送機が、北マケドニアにおける森林火災を消火するために合計 21 回の任務に従事した。
- **米空軍 B-52 爆撃機 2 機がルーマニアに到着**
  - 7月21日、第57空軍基地に米空軍の2機の戦略爆撃機 B-52H が到着した。米空軍の戦略爆撃機がルーマニアに着陸したのは初めて。米欧州軍によれば当該機は、欧州爆撃機任務部隊の活動中、バレンツ海の公海上空にてロシア軍機によるインターセプトを受けたものの、予定通りルーマニアに到着したとされる。
- **ルーマニア領域内 3 か所で、新たにロシア無人機のものと思われる破片を発見**
  - 7月31日、国防省は、7月23日夜から25日の2夜にわたって実施されたロシア軍によるウクライナ民間標的や港湾インフラに対する攻撃を受けて捜索した結果、トゥルチャ県プラウル（Plauru）、ペリプラヴァ（Periprava）およびチャタルキオイ（Ceatalchioi）の3か所で無人機のものと思われる破片を発見した旨発表。
- **ルーマニア空軍機、ギリシャ及びアルバニアの火災に対する消火活動などに従事**
  - 8月13日、トゥルヴァル国防大臣は、緊急事態局消防分遣隊のギリシャへの航空輸送任務を承認した。同日、空軍の C-130 輸送機と C-27 J 輸送機が、40 人の消防士と 2 台の消火車を乗せて、第 90 空軍基地からギリシャのイレウシス空軍基地に向けて離陸した。
  - 8月14日、同大臣はアルバニアでの消火活動の為、C-27 J 輸送機を消火用に、C-130 輸送機を後方支援用に派遣した。火災被災地で活動した7日間で、同機は合計 24 回の任務を行い、合計 122 個のコンテナを輸送し、120 トン以上の放水を実施した。
- **ルーマニア海軍記念日**
  - 8月15日、ルーマニア海軍はコンスタンツァにおいて、ヨハニス大統領、チウカ上院議長、トゥルヴァル国防大臣、ヴラッド参謀総長などの臨席のもと、海軍記念日に伴う式典と関連演習を挙行了した。
- **米空軍 B-52H 戦略爆撃機による任務を終了**
  - NATO の能力をロシアに対して示す事を目的として、ルーマニアに派遣されていた 2 機の米空軍の B-52H 戦略爆撃機は、8月中旬、第 57 空軍基地にてその任務を完了した。この展開の間、B-52H はフィンランド、ドイツ、イギリス、ハンガリー、ルーマニアの航空機とともに作戦を遂行した。

## (2) 訓練・演習等

### ● 多国間海軍軍事演習「BREEZE24」への参加

- 7月4日から15日にかけて、ルーマニア海軍のフリゲート艦「キング・フェルディナンド」が、ブルガリアのブルガス港およびその周辺海域でブルガリア海軍が主催する多国間演習「BREEZE 24」に、アルバニア、ベルギー、ブルガリア、フランス、ジョージア、ギリシャ、イタリア、リトアニア、英国、ポーランド、ルーマニア、米国、トルコの海軍とともに参加した。

### ● NATO 戦闘機による要撃戦闘訓練の実施

- 7月18日、NATOはルーマニアの第57空軍基地周辺空域においてNATOの戦闘機同士による空中戦の模擬訓練を実施した。本訓練には合計8機の戦闘機が参加し、攻撃側にスペインF-18が2機、フィンランドF-18が2機、ギリシャF-16が2機の計6機が、防御側には、フィンランドF-18が2機、ギリシャF-16が2機、イギリスのユーロファイター2機の計6機が、それぞれ割り振られルーマニアの領空防衛の訓練を行った。

### ● モルドバで Fire Shield 2024 演習を実施

- 8月5日から8月23日にかけて、モルドバにおいて、モルドバ軍、ルーマニア軍、米軍が参加し、作戦能力の向上と参加軍の相互運用性の向上を目的とした Fire Shield 2024 演習が実施された。ルーマニアからは軍事技術部隊が派遣され、砲兵システムが使用された。

## (3) 会談等

### ● 国防大臣、気候変動と安全保障分野における NATO センター・オブ・エクセレンスの運用開始式典に出席

- 7月9日、トゥルヴアル国防大臣はワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会合の傍ら、在米カナダ大使館主催の「気候変動と安全保障分野における NATO センター・オブ・エクセレンス (CCAS CoE)」設立記念式典に出席した。

### ● 国防大臣、NATO のデジタル・インフラ整備のための多国間プロジェクトに関する意向書に署名

- 7月9日、トゥルヴアル国防大臣はワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会合の傍ら、クラウド・エッジ・サービス用の NATO ソフトウェア (ACE) の開発と実装のための多国間協力プロジェクトに関する意向書に署名した。

### ● 国防大臣、「宇宙からの同盟国持続監視 (APSS) プログラム」に関する覚書に署名

- 7月9日、トゥルヴアル国防大臣はワシントンで開催された NATO 首脳会合の傍ら、NATO16 か国の国防大臣などとともに「宇宙からの同盟国持続監視 (APSS) プログラム」に関する覚書に署名した。

### ● 国防大臣、ブルガリアと黒海地域特殊作戦部隊司令部設立に関する覚書に署名

- 7月10日、トゥルヴアル国防大臣はワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会合の傍ら、ブルガリアの国防大臣とともに、黒海地域特殊作戦部隊司令部 (HQ R-SOCC) の設立に関する覚書に署名した。

### ● 国防大臣、ルーマニア、ブルガリア、ギリシャ間の軍事機動回廊の設立に関する意向書に署名

- 7月10日、トゥルヴアル国防大臣はワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会合の傍ら、参加国間の機動回廊 (道路と鉄道) を確立し、緊急事態や危機的状況下の効率性を最大化することにより、軍の展開を最適化する事を目的とした、ルーマニア、ブルガリア、ギリシャ間の軍事機動回廊の設立に関する意向書に署名した。

### ● 大統領、「ルーマニア・ウクライナ防衛協力協定」に署名

- 7月10日、ヨハニス大統領は7月10日、トゥルヴアル国防大臣はワシントン D.C.で開催された NATO 首脳会合の傍ら、ウクライナのゼレンスキー大統領と「ルーマニア・ウクライナ安全保障協力協定」に署名した。

### ● 国防大臣、トルコ海軍司令官と会談

- 8月15日、トゥルヴアル国防大臣はコンスタンツァで行われたルーマニア海軍記念日記念式典の傍ら、トルコ海軍司令官と会談を実施。会談では、黒海における安全保障の進展と、二国間および地域関係について話し合われた。

### ● 国防大臣、スウェーデン国防大臣と会談

- 8月19日、トゥルヴアル国防大臣はスウェーデンのジョンソン国防大臣の公式訪問を受け、会談を実施した。会談では、NATO 内での協力や黒海・バルト地域の安保情勢、二国間法的枠組みの更新などについて話し合われた。

#### (4) 人員・装備品・防衛産業など

- **ルーマニア人 F-16 戦闘機操縦士が、初めて欧州 F-16 訓練センターを卒業**
  - 7月26日、第86空軍基地の欧州 F-16 訓練センターにおいて、当センターでのプログラムを履修した初のルーマニア人 F-16 戦闘機操縦士 7 名の卒業記念式典が開催された。なお、この時点で当センターにおいて訓練を受けている操縦士はルーマニア人のみである。
- **スペイン、F-18 戦闘機をルーマニアに派遣**
  - 8月5日、スペイン空軍は、NATO 東端の防衛を強化するため、NATO・ルーマニア領空警備任務の一環として、F-18 戦闘機 2 機をルーマニアの黒海における監視作戦に投入した。
- **ルーマニア軍、BlueSpace Technology 社の対無人機システムを導入**
  - 報道によれば、国防省はルーマニア企業である Blue Space Technology 社から 30 台のポータブル対無人機無力化システム SILENTA 6001 と 10 台のパッシブ NOCTUA 3101 無人機探知システムを購入した。当該企業は東欧で TEMPEST 機器を製造する唯一のルーマニアの民間企業であり、唯一の NATO 認定企業でもある。今回の調達是一般競争入札に基づき実施され、2 種類のシステムの契約総額は付加価値税を除き 7,934,160 レイであるとされる。
- **ルーマニア財務省、F-35 戦闘機購入資金調達に向けた法整備を提案**
  - 報道によれば、ルーマニアは、FMF（対外軍事資金供与）メカニズムを通じて米国政府から提供される非常に有利な金融条件の下で、40 億ドル相当の資金を得たいと考えているところ、ルーマニア財務省は、国防や国家安全保障を含む国家戦略的な重要プロジェクトのために、政府や政府機関が利用できる特定の資金調達手段を多様化する可能性を規定する法案を発表した。FMF により、最大 40 億ドルの資金が直接融資として承認され、有利な金利（米国の資金調達コストに近い金利：米国財務省が発行する債券の金利にマージンを上乗せした金利）で、融資日から 1 年間の猶予期間を経て、12 年間で返済されるものであり、一部の国防省筋によれば、65 億ドルと見積もられる 32 機の F-35 戦闘機の購入にも利益をもたらすとされる。

#### (5) その他

- **コンスタンツァ、クライオバ、ジュルジュがロシアの核攻撃目標に**
  - フィナンシャルタイムズ紙が入手した 2008 年から 2014 年までの機密文書によれば、ロシアの核攻撃の目標 32 カ所のうち、ルーマニア内の目標は、海軍施設や第 57 空軍基地があるコンスタンツァ、イーダス・アショアシステムがあるクライオバ、ブルガリアのルセとの橋が架かるジュルジュの計 3 カ所であるとされる。

# 我が国との関係

## (1) 二国間関係全般

### ● ルーマニア首相府、日本の経済産業省からの代表団を歓迎

- 7月10日、アブルデアン首相府官房長、ドゥルメア次官、ペトルシュ・ルーマニア投資・貿易庁官房長は、佐伯耕三経済産業省参事を団長とした、経済産業省の代表団と面会し、戦略的パートナーシップに基づく両国経済関係の更なる強化や経済安全保障の問題等につき協議を行った。

### ● 片江大使、ヴェシュテア開発・公共事業・行政相を表敬訪問

- 7月16日、片江大使は、ヴェシュテア開発・公共事業・行政相を表敬訪問。日ルーマニア間の戦略的パートナーシップの下、地震・耐震分野での交流・協力が深まっており、今後とも同分野の交流・協力をより一層活発化させることや、極限レーザー核物理研究所（ELI-NP）の研究開発・プロジェクトを前進させること、公共インフラ事業の分野での協力の可能性を探っていくことなどについて意見交換が行われた。



### ● 片江大使、オプレスク労働・社会連帯相を表敬訪問

- 7月31日、片江大使は、オプレスク労働・社会連帯相へ表敬訪問し、ルーマニアにおける特に若者の雇用創出に関する意見交換の他、ウクライナ避難民のルーマニア労働市場への統合に関する支援策等について意見交換が行われた。



### ● 片江大使、ラフィラ保健相と懇談

- 8月1日、片江大使は、ラフィラ保健相を公邸に招いて懇談を行った。これまでの両国の保健・医療分野での協力関係や戦略的パートナーシップに基づくさらなる具体的な保健・医療分野でのプロジェクトの模索、ウクライナ避難民への保健・医療支援等について意見交換が行われた。



## (2) 広報・文化関係

### ● ブカレスト国際ジャズコンペティション、日本人ジャズトリオ準優勝

- 7月13日、ブカレスト国際ジャズコンペティションのガラ及び授賞式が開催され、日本人ジャズバンド「平光広太郎トリオ」が準優勝に当たる「ベスト・バンド」特別賞を受賞。第18回となる本コンペティションは7月5日～13日に開催され、18か国から21組のジャズバンドが参加。日本から参加した同バンドは、平光広太郎氏(ピアノ)、出宮寛之氏(コントラバス)、大森ひろ氏(ドラム)から構成され、名古屋周辺で活動中。



### ● みやこうせい氏 在外公館長表彰を受賞

- 7月16日、写真家であり、エッセイスト、翻訳家など多彩な活動をされているみやこうせい氏は、在外公館長表彰を片江大使より受賞した。みやこうせい氏は60年近くにわたり、実に205回もルーマニアに足を運び、写真、エッセイやルポ、翻訳等を通じて、ルーマニアの民俗、伝統、生活の魅力を国内外に広く紹介。マラムレシュを始めとしたルーマニア各地の村々に深い愛着を持ってルーマニア各地の人々に魅了され深い絆を築き、日本とルーマニアの相互理解・友好親善の促進に貢献した。



### ● 浮世絵展「Frumusețile Epocii Meiji în arta Ukiyo-E」開催

- 8月9日、シナイアの国立ペレシュ美術館ペリシオール城にて、浮世絵「Frumusețile Epocii Meiji în arta Ukiyo-E (浮世絵に見る明治時代の美)」展のオープニングセレモニーが行われ、片江大使が参加。
- 本展では江戸・明治時代の巨匠による作品が展示され、女性や四季、皇族などが描かれた浮世絵から、当時の美の基準や人々の生活、四季の美しさ、そして日本の歴史における重要な瞬間などを紹介。



### ● 榎戸二幸氏 ブカレストで琴コンサートに出演

- 8月23日、日本を代表する琴奏者・榎戸二幸氏は、在ルーマニア日本国大使館とARCUBが共催で開催した琴コンサートに出演し、多くのブカレスト市民が琴の持つ美しさと奥深さを堪能した。

